



# GOVERNOR'S

MONTHLY LETTER 国際ロータリー第 2830 地区  
2024-25 年度 ガバナー月信



国際協議会にて、アーチックRI会長と

## 主な内容

- ・ 巻頭言
- ・ ガバナー挨拶
- ・ RI会長テーマとメッセージ

- ・ 委員会活動
- ・ 各クラブの動き
- ・ 会員動向
- ・ Japanポータルサイトのご紹介

国際ロータリー第2830地区事務所  
〒030-0812 青森市堤町1丁目1-23 ホテル青森内  
TEL.0173-732-2830/FAX.017-732-2831  
E-MAIL rid2830@outlook.jp

## 巻頭言

ガバナー 花田 勝彦

2024-25年度がはじまりました。これから毎月1日(休日の場合は翌営業日)にガバナー月信を第2830地区のホームページ上で更新していきますので、よろしくお願いいたします。これまでの年度と同様、地区からは印刷して各クラブにお届けすることは省略いたしますので、各クラブの幹事さんは、ホームページからガバナー月信のpdfファイルをダウンロードしていただき、それをプリントアウトして第1例会で会員の皆様に回覧したり、データを共有する等して周知していただきたいと思います。

プリントアウトしたガバナー月信を保管するファイルの作成を検討しております。この2024年7月号から2025年6月号までの12か月間分をファイリングしていただけるようにしたいと思います。

この巻頭言では、身近な出来事やタイムリーな話題に触れた雑感をお届けしたいと考えていますので、お楽しみに。

さて、記念すべき第一回は、発災後半年を経過した能登地震についてです。先日の地区研修・協議会で同期のRI第2610地区大橋聡司ガバナーから当地区の皆様これまでの支援に対するお礼と今後の継続的支援のビデオメッセージをいただきました。三大研修の懇親会で石川県のお酒やワインを用意して、飲んでいただいた方にご寄付をお願いして参りました。これまでに30万円を超える支援金を送金することができています。

最近では能登地震の被災地の報道そのものが少なくなっていますが、復旧復興にはまだまだ多くの時間がかかることを見込まれています。息の長い支援が必要です。

これからも地区大会や地区の行事でご支援を呼びかけていきたいと考えていますので、その節には是非ご協力をよろしくお願いいたします。

私は、大学時代の4年間と、司法修習生としての1年半を金沢で過ごしました。妻の出身地でもある石川県は、いわば第2の故郷であり、特別な思い出がございます。是非機会を見て、現地にも足を運びたいと考えています。

7月3日からは早速公式訪問がはじまります。地区大会までには全40クラブに足を運んで皆様にお目にかかる予定を組んでおりますので、皆様のクラブを訪問したときにはよろしくお願いいたします。

7月の予定としては、7月7日の五所川原イブニングRCの海岸清掃、7月25日の南グループ合同例会、7月28日には三沢RCのゴルフコンペに参加します。10年以上ぶりのラウンドなので、皆さんの足を引っ張らないようにできるか今から心配です。地区の行事としては、7月13日には第1回財団セミナーがあります。多くのクラブから財団担当の方のご参加をお願いいたします。

最後はお願いばかりになってしまいましたが、これから1年間、一生懸命務めて参りますので、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



## ガバナー挨拶

ガバナー 花田 勝彦



7月1日を迎え、ロータリーの新年度、2024-25ステファニー・A・アーチックRI会長年度がスタートしました。

ガバナーノミニージェグネイトに選出されてから2年と少しの時間を、ガバナー就任に向けたさまざまな準備のために費やして参りました。地区幹事会のメンバーをはじめとして、多くの皆様に支えられ、こうしてガバナー年度のスタートを切ることができたことをまずは感謝したいと思います。

さて、これまで何度かご紹介しておりますが、私は、ガバナーエレクトとして2024年1月7日から11日まで、アメリカフロリダ州オーランドで開催された国際協議会に参加いたしました。この国際協議会で、志を同じくする世界中の多くの友人と出会い、同じ時間を過ごしたことによって、ロータリーが大好きになって帰ってまいりました。ガバナーに就任するための燃えるようなエネルギーをいただけてきたと感じています。

ステファニー・A・アーチックRI会長は、2024-25年度のRIテーマとして、「ロータリーのマジック」を掲げられました。このマジックを生み出すのは、私たち一人一人のロータリアンの思いやりと信念に基づく行動です。

そして、アーチック会長が最優先課題としてあげられたのは、会員増強を図る行動計画を推し進めることです。会員増強については、地区当たり100名の増員かつ4つの新クラブの設立という数値目標を提示されています。行動計画(アクション・プラン)については、2019年から5年計画の最終年に当たります。「より大きなインパクトをもたらす」、「参加者の基盤を広げる」、「参加者の積極的なかわりを促す」、「適応力を高める」という4つの優先事項は、我々ロータリアンが進むべき方向性と位置付けています。これを具体的に実現するための数値目標が、「3-Year Goals」です。これまで単年度で入力されていた「クラブセントラル」を3年間の継続性を持ったものとして各クラブが実践していくことが期待されています。その結果として、魅力ある(Simply Irresistible)クラブづくりを実現して、多くの会員増強に繋がっていくというわけです。

第2の優先事項は、積極的平和を通じて分断された世界を癒やすことです。ここでは、おなじみの「四つのテスト」の実践のほか、ピースポール(平和の柱)プロジェクトを紹介し、ロータリー平和センターを通じて平和の構築を呼びかけています。

最後に継続性です。これはリーダーが前任者、後任者と協力することと、クラブが取り組んできたことや根付いてきたことに目を向けることです。

次年度の地区スローガンとして掲げた「個性輝くロータリー」は、RIテーマを踏まえて、ロータリアンも、ロータリアン以外の人も、自分自身の個性を十分に発揮できるロータリーを目指すと同時に、他人の個性をも同じように重視する思いやりのある立ち振る舞いができるロータリーでありたいという思いから出た言葉です。



2830地区は小さな地区ですが、一人一人のロータリアン、ひとつひとつのクラブは、輝く個性を持っていると思います。素晴らしい体験を発信して魅力的なクラブづくりをしていきましょう。その担い手は、クラブの会長や幹事であり、地区リーダーは、個性輝く魅力的なクラブを作るための支援をしていきます。それがひいては多くの仲間を増やすことに繋がっていくでしょう。そして、こうした活動が継続性をもって次の年度に引き継がれることも重要になります。皆様のクラブにおいても、可能な限り継続性を意識していただければと思います。

そして、5つの重点項目は、

- ① ロータリーの行動計画(Action Plan)を理解し、推進しよう
- ② 参加し、交流し、行動することで、ロータリーを楽しもう
- ③ DEI+Belonging(帰属意識)を育もう
- ④ クラブでの体験を魅力的なものにしよう
- ⑤ 奉仕活動の継続性を意識しよう

です。先に述べたアーチックRI会長の重点事項をより具体的に実践することを目指しています。この中で、②の「参加し、交流し、行動することで、ロータリーを楽しもう」は、水野功RI理事エレクトが仰るロータリーの本質を言い表している言葉だと思っています。ロータリーを楽しむことを出発点として、それぞれの重点項目を実践していくことでいいのだと思います。

魅力的なクラブづくりのためには、クラブ会長、幹事の皆様の熱意とアイデアが重要です。他のクラブの奉仕活動も参考にしながら、自分のクラブだけでは十分な活動ができない場合には、合同例会や地区の組織や委員会を利用して、会員を楽しませる工夫をしていきましょう。楽しい場所に人は集まります。会員にとって居心地のいいクラブとすること、クラブでの経験を魅力的にすることで、沢山の仲間を増やすことに繋げていきたいと思っています。

そのために大切なことは、DEI(Diversity:多様性、Equity:公平性、Inclusion:インクルージョン)の推進です。今年度、地区にはじめてDEI推進委員会を設置しました。会員がクラブへの帰属意識を育むために、クラブのリーダーを中心にDEIを推進し、魅力的なクラブを作って行きましょう。地区ではそのお手伝いをするためのさまざまな方法を検討していきたいと思っています。

2026年7月1日までに地区内のロータリアンが1100名に達しなかった場合、隣接地区と合併することに同意するというRI理事会の決議を受けて、緊急事態宣言を発したところではありませんが、小手先の会員増強に走ることなく、まずは魅力的なクラブづくりをして、ロータリアン一人一人の個性を輝かせ、クラブの個性を輝かせることで仲間を増やしていくことを目指したいと思っています。

そして年度が終わるときには、次のチームに魅力を繋げられるように、一緒に頑張っていきたいと思っています。



## RI 会長テーマとメッセージ



国際ロータリーのステファニー・アーチック会長エレクトは、2024-25年度会長テーマ「ロータリーのマジック」(The Magic of Rotary)を発表し、多くの人びとを救うロータリーの力を認識してこれをさらに広げるよう呼びかけました。

「誤解しないでください。私たちは魔法の杖を振って呪文を唱えるだけでポリオを根絶したり、世界に平和をもたらしたりするわけではありません」。1月8日、ロータリー国際協議会でアーチック会長エレクトは次期地区ガバナーにこう語りました。「それは皆さん次第です。プロジェクトを終えるたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、皆さんはマジック(魔法)を生み出すのです」

マクマーリー・ロータリークラブ(米国ペンシルバニア州)の会員であるアーチック会長エレクトは、ドミニカ共和国で浄水器の設置活動に携わったときにロータリーのマジックを目にしました。そのとき、汚い水がフィルターに入り、反対側から透明な水が出てくるのを、二人の少年が見ていました。

「少年の一人が私の袖をつかんで、『もう一度魔法を見せて』と言ったのです」とアーチック氏。「もちろん、その浄水器が魔法なのではありません。浄水器を輸送し、設置し、現地のリーダーと協力してメンテナンスを行うために、私たちは懸命に活動しました。安全な水を簡単に入手できれば自分たちの人生が変わるということを、少年たちは知っていました。私が少しでもその力になれたと知ったことで、私の人生も変わったのです」



### 平和を優先する

アーチック氏は、ロータリーの行動計画を推進し、継続と変化のバランスを取り、平和のために活動するよう会員に促しました。2025年には「分断された世界を癒す」をテーマに会長主催平和会議を開催する予定となっています。

ロータリーには、平和センターのネットワークを通じて平和を促進してきた長い歴史があると、アーチック氏は述べました。世界各地の名門大学に拠点を置く平和センターは、現在140カ国以上で活躍する約1,800人の平和フェローを育ててきました。トルコのイスタンブールにあるバーチェシヒル大学に設置される最新の平和センターでは、2025年に第1期フェローが学業を開始します。

「ロータリー平和フェローシップは、紛争を終わらせ、予防するきっかけとなる平和・開発の専門家を世界各地で育成するために、20年以上前に始まりました」とアーチック氏。「この会議は、ロータリーの平和活動に焦点を当て、ともに学ぶ機会となります」

アーチック氏はさらに、ポリオ根絶へのコミットメントについても繰り返し触れ、ポリオプラス・ソサエティへの参加や、各地区でのソサエティの創設など、ポリオ根絶のために全力を尽くすよう次期ガバナーに求めました。

「地元議員や政府のリーダーに連絡し、ポリオが現在も脅威であることを伝えて、ポリオ

根絶への支援を呼びかけてください。ポリオは今も私たちの最優先事項であり、最大限のコミットメントが必要とされます。成すべき重要な仕事はまだ多くあります」

### 継続と変化のバランス

また、継続と変化のバランスを取ることの必要性も強調し、どちらもロータリー行動計画の原動力であると述べました。

「この計画は、ロータリーの最善のアイデアを捨てるのではなく、それを土台として築いていくもの」とアーチック氏。「私たちは、バランスを取るという難題に直面しています。自分たちを変えつつも、自分たちの真の姿に忠実であり続けなければなりません」

さらに、クラブでの体験を会員にとって魅力的なものとするために必要な対策を取るよう、ガバナーに求めました。

「これは、皆さんの地区でのやり方を変えることを意味するかもしれません。地区が過去50年間に同じ方法で物事を行ってきたのであれば、おそらくそれを見直す時が来ているでしょう。地区内のクラブが活発に活動していない場合、または会員が減っている場合、地域社会にもっと合った新クラブを結成する時が来ているのかもしれません。クラブや地区が長年変わっていないからといって、誰も変化を望んでいないわけではありません」

アーチック氏は、好ましい変化をもたらす一つの方法は、クラブで多様性、公平さ、インクルージョン(DEI)の原則を取り入れることであると述べました。

「行動志向の次世代の人たちをオープンな心で迎えていただけることを願っています。たとえば、地元クラブの典型的な会員とは異なるタイプの人であっても」とアーチック氏。「DEIを受け入れれば、共通の目的のために結束しやすくなります。ともに献身し、力を注げば、ロータリーは最も効果的で時代に即した存在になることができます」

### 会長イニシアティブ

1. 最優先課題は会員増強を図る行動計画を推進すること  
～3-Years Rolling Targets(3年間の目標)
2. ロータリーのマジック～クラブでの体験を魅力的なものとする  
～ロータリーの行動計画、ロータリーの強さを維持するため
3. 積極的な平和を通じて分断された世界を癒やすこと  
～4つのテストの重要性・ピースポール(平和の塔)プロジェクトの推進
4. 継続性と変化のバランス  
～前任者や後任者と協力すること・クラブが取り組んで来たことやクラブに根付いていることに目を向けること

### 具体的な目標として示されたこと

1. 3-Year Rolling Targetsを前提とし、2024-2025中には各地区で純増100名を目指して下さい。
2. 各地区で4つ以上の新規クラブを立ち上げて下さい。  
上記の2つは、"or"ではなく"and"です！

(JAPANポータルサイト<https://www.japanrotary.club/24-25>より)





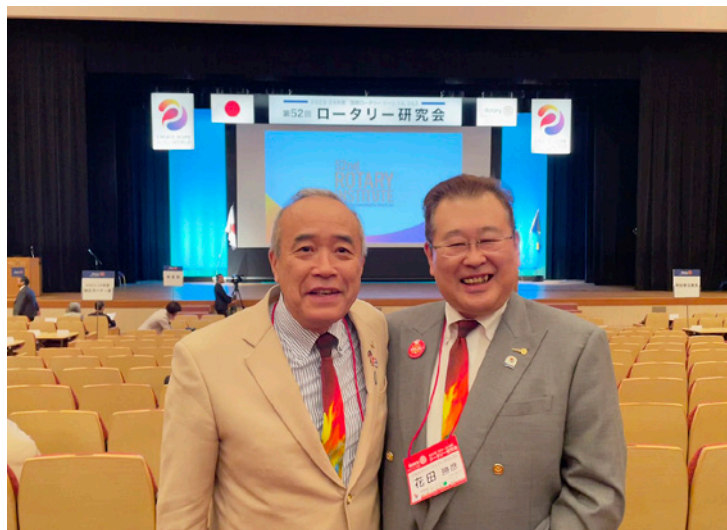
## 築館直前ガバナーへ感謝の言葉

ガバナー 花田 勝彦

まずは築館直前ガバナーにおかれましては、1年間当地区のガバナーを勤め上げられたことについて心からの敬意を表し、感謝の言葉を贈りたいと思います。本当にお疲れさまでした。近時、副ガバナー制度が定着しつつありますが、直前ガバナーが勤めるのが慣例のようです。今年度も築館直前ガバナーに副ガバナーをご担当いただくことになっております。

先日のRYLAで、アメリカでマクドナルドが誕生したその日に遠く日本で生を受けたのが築館直前ガバナーであるというお話を聞いて、まさにMacの申し子なのだとということがよく分かりました。

築館直前ガバナーの功績といえば、当地区の公式キャラクター「ロータくん」を公募して決定し、発表したことが上げられると思います。今年度も、ロータくんには活躍していただく機会がたくさんあると思います。着ぐるみについては、願わくば中に入る若くて体力のある方を何名か養成し、動きにキレがあるようにできたらよりよいのではないかと考えているところです。



継続性の大切さを多くの機会に耳にします。ワニヤールールのロータリーから、3年計画のロータリーへ。築館直前ガバナーと米谷ガバナーエレクトのLINEグループに、成田俊介ガバナーノミニーも加えて、経験者の声をすぐに聞ける状態を活用したいと思います。

これからもご指導をよろしく申し上げます。一年間お疲れさまでした！



## 委員会活動

### 2023-24年度RYLAプログラムを終えて

RYLA委員長 三浦 基

RYLA委員長を務めさせていただき2回目のRYLAプログラムを2024年6月8日・9日に東北町の青森原燃テクノロジーセンターで開催しました。

1日目は日本赤十字社 八戸赤十字病院 院長 紺野 広 様(八戸RC)の危機管理についての講義をいただき日本の地震被害と対策の状況や災害派遣時の組織づくりや平時における心構えなどをお話いただき、自国に地震被害があまりない方々には衝撃だったようで貴重な経験をさせていただきました。その後のグループディスカッションでは青少年2チームとロータリアン2チームで「リーダーに求められる素質とは」を討議いただき経験に基づくロータリアンの発表とこれから未来に向かう青少年の発表の質の違いを感じました。友愛の夕べでは青少年とロータリアンの席をランダム配置することで様々な交流がありました。2日目はラジオ体操から始まり、川柳の思索をしていただき、築館ガバナーよりDEIについての講義をいただきました。英語での読解が日本語より得意な青少年が多い中での講義は難しかったことと存じますが築館ガバナーの明るさに青少年の笑顔が絶えない時間でした。

花田ガバナー年度でも引き続きRYLA委員長を務めさせていただきます。ロータリアンの企業の新入社員や関係団体の青少年の方、米山記念奨学生の学校での友人などいろいろなご紹介をいただきながら有意義なプログラムを委員の皆さまと考えてまいりますので、参加者のご紹介よろしくお願いたします。







## 各クラブの動き

### 青森モーニングロータリークラブ創立35周年記念事業報告

記念事業実行委員長 坂井 哲博

2024年6月7日ホテル青森において、青森モーニングロータリークラブ(MRC)創立35周年記念式典・祝賀会が挙行されました。

青森MRCは、1989年4月23日に創立され、同年6月1日に、日本国内で1839番目のクラブとして国際ロータリーからの承認を受けています。

創立時の地区ガバナーは生駒日出夫氏であり、特別代表として三國智造氏を迎えています。

青森市内の5クラブ(青森RC、青森東RC、青森北東RC、青森南RC、青森中央RC)がスポンサークラブとなり誕生しました。

式典に先立って行われた姉妹クラブ会長・幹事会で、神戸MRCの姉妹クラブ加入が全MRC賛成のもと決定されました。また特筆すべきは全MRCが一致団結して奉仕事業を行おうとの機運が醸成されことです。1時間余りも有意義な意見交換が行われ、各MRCが持ち帰って議論を詰めることと、「今」すぐにできることを決定しました。互いの刺激を受けあい今後の活動の広がりを実感できました。

記念式典では、ご来賓として築館智大ガバナー(RYLAのため工藤真人中グループガバナー補佐が代行)、花田勝彦ガバナーエレクト、大柳繁造、沼田廣各パストガバナー、中里公造パストガバナー(川口MRC)、花田惇氏(青森山田高等学校校長)、小野次郎氏、工藤玲子氏にご参列を賜り、姉妹クラブである川口、札幌、旭川、京都、神戸のMRCと市内クラブから90余名のご参集をいただきました。

奉仕プロジェクト事業として、本年6回目となる「青森市内8校と米国メイン州との小学生版画交流作品展」の開催が紹介されました。クラブ奉仕事業功労者として、棟方志功記念館元館長の小野氏と棟方志功記念館評議員の工藤氏が表彰されました。

祝賀会では、マグロ解体ショーに始まり、青森山田高等学校吹奏楽部の感動的な演奏、特に「太陽にほえろ」「あぶない刑事」では心動かされたロータリアンも多かったようです。杉本夫妻には、いつもながら素晴らしいピアノ&テナーサクソ演奏の花を添えていただきました。

姉妹クラブ懇親会では「神戸MRC大歓迎！」の垂れ幕サプライズも飛び出しました。柳谷昂太郎君(高校一年生)の津軽三味線の迫力ある演奏が披露されて楽しく充実した時を共有できました。



## ロータリー特別月間

### 母子の健康月間について

ガバナー 花田 勝彦



7月は母子の健康月間です。この月間は、2014年10月のRI理事会で決議され、2015年度以降は4月がこの月間でした。2023年からは7月に変更されています。

日本の場合、医療技術が高水準であるため、周産期死亡率や妊産婦死亡率は極めて低く、世界的にもトップレベルにあるといわれています。他方で、日本における母子の問題は、子供が産まれた後に生じています。マタニティハラスメントや産後うつ、ワンオペ育児、DV、児童虐待などがあげられます。また、若年者の望まない妊娠・中絶・出産は古くから指摘されているところです。

性教育の小学校への出前授業や産前産後ケアハウスの支援、妊婦疑似体験、子宮頸がんをテーマにした例会など、過去のロータリーの友(2021年4月号など)では、さまざま活動が紹介されていました。クラブで実際にこのような活動をするとなると、医療機関や福祉施設のロータリアンの協力が必要不可欠となるでしょう。そのような会員のいるクラブでは是非母子の健康について考える機会となる活動を実行し、他のクラブに発信していただきたいと思います。

来月以降もその月のロータリー月間に関する内容について触れていきたいと思います。

8月は会員増強・新クラブ結成推進月間です。

## みなさんのロータリー活動を月信の表紙に ~写真募集のお知らせ~

日々のロータリー活動をガバナー月信の表紙に載せてみませんか？

2024-25年度ガバナー月信では、毎号の表紙を飾る各クラブでロータリー活動を撮影した写真を募集いたします。写真の内容は、ロータリー活動に関するものであれば、どのようなものでも結構です。特徴あるクラブの奉仕活動を多くの方に知っていただくチャンスにして下さい。

[掲載予定]

8月号：西第1グループ

9月号：南グループ

10月号：中グループ

11月号：西第2グループ

12月号：東第1グループ

1月号：東第2グループ

皆様の素敵な写真をお待ちしております。





## 地区事務所スタッフのご紹介



幹事長  
**木村 重介**  
(五所川原RC)  
総務・企画・  
諮問委員会担当



副幹事長  
**今 広樹**  
(五所川原RC)  
地区研修・協議会実  
行委員長、月信担当



副幹事長  
**平山 敦士**  
(五所川原RC)  
DTTS・PETS  
実行委員長



副幹事長  
**敦賀 鉄正**  
(五所川原RC)  
地区大会実行委員長



会計長  
**寺田 和仁**  
(五所川原RC)



幹事  
**浅利 壽信**  
(五所川原RC)  
DTTS・PETS  
副実行委員長



幹事  
**野上 友明**  
(五所川原RC)  
地区研修・協議会  
副実行委員長



幹事  
**阿部 哲也**  
(五所川原RC)  
地区大会副実行委員長



幹事  
**今 直樹**  
(五所川原RC)  
公式訪問・  
各種事業担当



幹事  
**小笠原崇文**  
(五所川原RC)  
公式訪問・  
各種事業担当



幹事  
**中山 佳**  
(五所川原RC)  
国際大会推進、公共イメー  
ジ・各種事業担当(社行会)



幹事  
**太田 康成**  
(五所川原RC)  
RIJYEM・  
各種事業担当



幹事  
**佐藤 昭義**  
(五所川原RC)  
RIJYEM・  
各種事業担当



幹事  
**寺田 明代**  
(五所川原RC)  
地区大会・  
クラブ会長



幹事  
**成田 学治**  
(五所川原RC)  
各種事業担当  
(地区大会)



幹事  
**清野 悟**  
(つがるRC)  
各種事業担当  
(地区大会)



幹事  
**宮崎 敬也**  
(五所川原中央RC)  
各種事業担当  
(地区大会)



専属事務局員  
**浅利 育子**

1年間よろしく  
お願いいたします。



## 会員動向

《 2024年5月 》  
【入会者】



石田 博也  
(七戸)  
5月18日入会



武藤 大輔  
(青森)  
5月23日入会



富田 啓  
(青森モーニング)  
5月21日入会

【退会者】

クラブ名	氏名	退会日
弘前アップル	田村 真一	5月31日
青森	武藤 一郎	5月31日

【ロータリー財団寄付】



畠山 徳陽  
(八戸西)  
PHF



2024年5月会員数の増減及び出席率表

グループ	クラブ名	例会数	出席率%	正会員数								My Rotary 登録率%
				前月末 会員数	入会	退会	5月末 会員数	女性 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	
東第一グループ	むつ (うち、むつ大畑)	3	96.00	50 (9)	0 (0)	0 (0)	50 (9)	3 (1)	50 (9)	4 (0)	4 (0)	28.00
	野辺地	4	90.11	13	0	0	13	2	13	1	1	92.31
	七戸	2	74.25	10	1	0	11	2	8	3	0	18.18
	東北	3	66.60	17	0	0	17	2	16	1	0	82.35
	むつ中央	3	70.00	20	0	0	20	0	22	0	2	15.00
	六ヶ所	4	55.00	33	0	0	33	1	31	3	1	21.21
	小計				143	1	0	144	10	140	12	8
東第二グループ	三沢	4	60.45	25	0	0	25	1	24	1	0	40.00
	十和田	4	70.00	38	0	0	38	11	38	1	1	26.32
	十和田東	4	49.70	25	0	0	25	2	26	0	1	60.00
	おいらせ	3	87.00	6	0	0	6	1	6	0	0	50.00
	三沢東	3	71.23	35	0	0	35	4	35	0	0	31.43
	十和田八甲	3	66.00	82	0	0	82	1	80	3	1	36.59
	小計				211	0	0	211	20	209	5	3
西第一グループ	五所川原	5	67.00	55	0	0	55	6	54	1	0	78.18
	金木	4	87.00	12	0	0	12	1	12	0	0	8.33
	鱒ヶ沢	2	62.50	16	0	0	16	2	14	2	0	25.00
	鶴田	3	58.33	8	0	0	8	1	8	0	0	37.50
	五所川原中央	4	48.00	24	0	0	24	2	26	0	2	40.00
	つがる	3	54.50	33	0	0	33	0	33	0	0	33.33
	五所川原イヴニング	2	38.00	26	0	0	26	7	28	0	2	53.85
	小計				174	0	0	174	19	175	3	4
西第二グループ	弘前	3	77.30	48	0	0	48	3	40	11	3	54.17
	弘前東 (うち、弘前東桜華)	1	71.40	17 (9)	0 (0)	0 (0)	17 (9)	5 (3)	18 (10)	1 (0)	2 (1)	35.29
	板柳	2	73.00	11	0	0	11	0	11	1	1	36.36
	黒石	3	61.00	20	0	0	20	3	19	1	0	55.00
	大鰐	3	55.00	9	0	0	9	0	10	0	1	33.33
	弘前西	2	100.00	30	0	0	30	4	28	2	0	66.67
	平賀・尾上	2	38.80	9	0	0	9	0	9	0	0	33.33
	弘前アップル	2	83.00	18	0	1	17	3	19	0	2	66.67
	小計				162	0	1	161	18	154	16	9
中グループ	青森	4	61.80	100	1	1	100	9	96	12	8	100.00
	青森北東	2	80.00	23	0	0	23	3	22	2	1	65.22
	青森中央	2	83.30	6	0	0	6	1	6	0	0	33.33
	青森モーニング	2	60.60	21	1	0	22	4	22	2	2	57.14
	小計				150	2	1	151	17	146	16	11
南グループ	八戸	3	64.70	65	0	0	65	0	60	8	3	40.00
	八戸東	4	100.00	47	0	0	47	0	48	2	3	57.45
	三戸	3	96.00	9	0	0	9	1	9	1	1	88.89
	五戸	3	77.20	12	0	0	12	1	12	0	0	50.00
	南部	3	80.00	9	0	0	9	0	10	0	1	44.44
	八戸北	3	66.30	38	0	0	38	8	38	1	1	52.63
	八戸南	3	81.00	28	0	0	28	0	31	0	3	100.00
	八戸中央	3	41.20	21	0	0	21	5	20	2	1	47.62
	八戸西	3	47.50	33	0	0	33	20	34	0	1	48.48
小計				262	0	0	262	35	262	14	14	
合計 40RC				1,102	3	2	1,103	119	1,086	66	49	51.69

※ ( ) 内は衛星クラブの会員数です

期首会員数は2023年6月末会員数です

7月1日の会員数は1,087名です

5月末現在の入退会人数です

地区行事予定

2024年7月 母子の健康月間

月 日	曜 日	内 容	会 場
1	(月)	第1回ガバナー会議/ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	グランドプリンスホテル高輪
2	(火)		
3	(水)	ガバナー公式訪問 八戸RC	八戸グランドホテル
4	(木)		
5	(金)		
6	(土)		
7	(日)	第13回 全国青少年交換委員長会議	AP東京八重洲
8	(月)	ガバナー公式訪問 八戸中央RC	八戸プラザホテル
9	(火)	ガバナー公式訪問 野辺地RC	ウロコマル野坂屋 蔵 (KURA)
10	(水)		
11	(木)	ガバナー公式訪問 鱒ヶ沢RC	水軍の宿
12	(金)		
13	(土)	第1回ロータリー財団セミナー	アスパム
14	(日)		
15	(月)	海の日	
16	(火)	ガバナー公式訪問 むつRC	むつグランドホテル
17	(水)		
18	(木)	ガバナー公式訪問 七戸RC	七戸商店会協同組合 2F
19	(金)		
20	(土)		
21	(日)		
22	(月)	ガバナー公式訪問 鶴田RC	鶴田町役場国際交流会館
23	(火)	ガバナー公式訪問 つがるRC ガバナー公式訪問 金木RC	つがる市商工会 2F 奴寿し
24	(水)		
25	(木)	ガバナー公式訪問 青森RC 南グループ合同例会	ホテル青森 八戸プラザホテル アーバンホール
26	(金)		
27	(土)	RLI日本支部総会及び研修会	オリンピック記念青少年総合センターほか
28	(日)	第1~3地域合同 公共イメージ向上オンラインセミナー	Zoom
29	(月)	ガバナー公式訪問 弘前RC	RAGLEY (ラグリー)
30	(火)	ガバナー公式訪問 板柳RC	板柳町商工会館 2F
31	(水)		





地区行事予定			
2024年8月 会員増強・新クラブ結成推進月間			
月 日	曜 日	内 容	会 場
1	(木)		
2	(金)		
3	(土)		
4	(日)	第7回 全国地区ローターアクト委員長 及び 地区ローターアクト代表合同会議	ハイブリッド形式 (AP日本橋+ZOOM)
5	(月)		
6	(火)	ガバナー公式訪問 大鰐RC	山忠会館
7	(水)	ガバナー公式訪問 弘前東RC	アートホテル弘前シティ
8	(木)	ガバナー公式訪問 黒石RC	赤提灯 2F
9	(金)		
10	(土)		
11	(日)	山の日	
12	(月)	振替休日	
13	(火)		
14	(水)		
15	(木)		
16	(金)		
17	(土)		
18	(日)		
19	(月)		
20	(火)	ガバナー公式訪問 十和田RC	サン・ロイヤルとわだ
21	(水)	ガバナー公式訪問 三戸RC	住谷野「鴛鴦殿」
22	(木)	ガバナー公式訪問 五所川原中央RC	ホテルサンルート五所川原
23	(金)		
24	(土)		
25	(日)		
26	(月)	ガバナー公式訪問 青森中央RC ガバナー公式訪問 弘前アップルRC	ホテル青森 弘前総合学習センター
27	(火)	ガバナー公式訪問 青森モーニングRC	ホテル青森
28	(水)	ガバナー公式訪問 青森北東RC	ホテル青森
29	(木)		
30	(金)		
31	(土)		

## 「クラブアクションプランチャンピオン」ご推薦のお願い

2024-25年度は、アーチック会長の意向で、「Action Plan(行動計画)」を推進する役割を担う「推進者(Champion)」として、「RI Action Plan Champion」が選任され、日本の第1地域から第3地域まで3名の「地域アクションプランチャンピオン」が選出されました(第1地域はD2520の菅原裕典PG)。これを受けて、各地区でも「地区アクションプランチャンピオン」を選任してほしいという依頼があり、当地区では、戦略計画委員長と兼任する形で、弘前RCの今井高志PGにご就任いただくことになりました。

さらに、各クラブにおいて行動計画を推進する役割を担う「クラブアクションプランチャンピオン」を選任するよう依頼がきております。改めてクラブ会長の皆様には、ご推薦のお願いを申し上げますので、ご検討をよろしくお願いいたします。

## Japan ポータルサイトのご紹介

皆さまにロータリーの様々な情報をスムーズに情報提供や情報共有を密にさせていただけるJapan(RI zone 1a,2,3)ポータルサイトをご紹介します。

このポータルサイトでは、「Action Plan(行動計画)」や、「3-Year Rolling Goals」「DEI」などを、クラブでどのように進めて行くのかについてのヒントがたくさん掲載されています。どれもクラブの発展と活性化のために活用していただくものです。頻繁に更新もされていますので、クラブ会長、幹事の方は、My Rotaryとともに、ブックマークを付けて、ときどき新しい情報が掲載されていないかチェックし、実践してみてください。サイト内には主に以下の重要事項(例えばDEIなど)をわかりやすく掲載してあります。

MyRotaryに加え、是非こちらもお活用いただきますようお願いいたします。

[Rotary Zone 1a, 2, 3 PortalSite \(japanrotary.club\)](https://japanrotary.club)



スマホはこちらから

## 編集後記

2024 - 25 年花田勝彦ガバナー年度を迎えるにあたり、皆さまにご挨拶申し上げます。

私たちのロータリークラブが発行している会報誌は、皆さまご存知の通りそれぞれ随分とカラーが異なります。その速報版が Facebook や Instagram のような SNS に当たります。それぞれツールとしての持ち味があり、活用できれば力になります。情報を掲載する目的のひとつとしては『あのクラブにメイキャップに行ってみたい』、あるいはロータリアン同士の繋がりを感じるという内向き、そして、クラブ外の方が活動に興味を持ってもらえるような外向きの記事となるようにする、それが理想だと個人的には思います。

恐らくガバナー月信もそれは同じだと思います。私は、第 2830 地区のロータリアンの皆さまの熱意をこの誌面上で伝えて行く手伝いを少しでもできればと思っておりますので、ご支援、ご協力の程よろしくお願いいたします。

ガバナー月信 編集後記担当 増田 卓也  
(五所川原ロータリークラブ)